

授業科目名	学校の経営・制度・社会
科目番号	CB11091
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋AB 金5,6
担当教員	遠藤 優介, 小松 孝太郎
授業概要	教育の思想と理論、教育実践と方法、教育の制度と経営、人間形成と環境・文化の基礎的知識について概説する。
備考	教育学類学生は「教育基礎論」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 必修科目
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「人間科学の理解力」、「教育学の基礎的体系的知識」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	変動する社会においてこれからの教育はどうあるべきか、教育の制度と経営、人間形成と社会、世界の学校など、具体的なテーマに基づいて教育学の基礎的知識を習得し、様々な教育事象について説明できるようになる。
授業計画	3名の教員が交代で実施し、毎回異なるテーマを取り上げ、解説する。 第1回 オリエンテーション 第2回 「教育」という営みと「学校」という場 第3回 現代の学力をめぐる諸問題について考える(前半) 第4回 現代の学力をめぐる諸問題について考える(後半) 第5回 学級経営と授業について考える(前半) 第6回 学級経営と授業について考える(後半) 第7回 学校体系(諸外国を含む)について考える(前半) 第8回 学校体系(諸外国を含む)について考える(後半) 第9回 教科教育の目標について考える(前半) 第10回 教科教育の目標について考える(後半) 第11回 授業の国際比較について考える(前半) 第12回 授業の国際比較について考える(後半) 第13回 指導と評価の一体化について考える(前半) 第14回 指導と評価の一体化について考える(後半) 第15回 グローバル時代の言語教育について考える(前半) 第16回 グローバル時代の言語教育について考える(後半) 第17回 英語帝国主義の時代 外国語教育における英語支配について考える(前半) 第18回 英語帝国主義の時代 外国語教育における英語支配について考える(後半) 第19回 多言語教育の可能性と限界について考える(前半) 第20回 多言語教育の可能性と限界について考える(後半) 各回の授業テーマ及び順番は変更する可能性がある。 2022年度はすべてオンデマンドで実施するため、授業前には詳細についてmanabaを確認すること。
履修条件	
成績評価方法	レポート(100%) 各教員が課すレポートの得点を平均し、総点において90点以上をA+、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDと評価する。

成績評価方法	なお、出席回数が授業全体の2/3未満である場合には、評価の対象としない。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業終了時に示す課題についてレポートを作成する。
教材・参考文献・配付資料等	授業において適宜資料を配付するほか、参考文献を紹介する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	各教員にメールで照会すること。 世話人:遠藤優介
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	オンデマンドでの実施にあたり、計画的に動画を視聴し、期限内にレポートを提出すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TA配置有り(1名)
キーワード	学校，教育制度，世界の学校，社会と教育